

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

2017-2018年度 国際ロータリー会長 イアン H.S. ライズリー



2017-2018年度

会長：加藤一郎 幹事：福田哲三 クラブ会報委員長：花橋日出夫

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティンゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

事務局/TEL 052-684-6591 FAX 052-684-6592

2017 November 22

■ 2017~2018 年度方針

Enjoy Rotary—

Enjoy Nagoya Wago Rotary Club

NO.20

例会報告

●第2199回例会 平成29年11月22日 (水) 曇

●11月はロータリー財団月間

●ロータリーソング 手に手つないで

●出席報告 会員 97 名中 (87) 出席58名

出席率66. 67% 修正出席率80. 52%
(11月 8 日分)

●ビジター紹介

鈴木宏司地区国際奉仕委員長 (半田南RC)

●ゲスト紹介

ゲストスピーカー

川村範行東海日中関係学会会長

●ニコボックス

「地区国際奉仕委員長の鈴木宏司様、ようこそ和合ロータリークラブへ。本日はごゆっくりお楽しみ下さい。」

福田哲三君

「ノーベル文学賞 受賞作家 カズオ・イシグロ氏の長編最新作、“忘れられた巨人”は、ケルト文化の背景を知らないとその真髄に触れることができません。この物語の背景にある、ケルト文化の解説と読後感を小文としました。」

鷲塚貞長君

「先週の麻雀大会、前回到続いて連続優勝しました。景品のカレー・ハヤシライスの食べ過ぎで、腹の中が紅葉しています。」

安井信之君

「次の日曜日にゴルフ・ワンの会コンペがあります。残り1枠ありますので、ご参加をお待ちしております。」

梶田浩太郎君

「ひさしぶりに加治佐さんが「まじめ」にロータリーの

仕事をやっているのに「ビックリ」しました。」

天野清美君

「カジサさんがしょんぼりしていたので、思わず同情して寄付しました。」

宮崎卓也君

本日のニコボックス	6件	12,000円
累 計	111件	822,000円

福田哲三幹事報告

▽当クラブの行事予定

・11月29日(水) 例会終了後、クラブアッセンブリーを開催致します。

※理事及び役員、各委員長のご出席をお願い致します。委員長ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願い致します。

※クラブアッセンブリー終了後、理事会を開催致します。理事及び役員のご出席をお願い致します。

・12月6日(水) 年末会員家族懇親会を開催致します。

※17時受付開始、場所はブルーノートです。

・12月13日(水) 卓話終了後、年次総会を開催致します。

加藤一郎会長挨拶

先週は例会をお休みして、中国の工場へ行って仕事をしてきました。セントレアから上海浦東空港(プードン)へ、JALボーイング737-800型で飛びました。このボーイング737-800型は、短距離型で最も成功した飛行機で、1967年に初期型737-100型が飛びました。その後改良に改良を重ねてきた飛行機です。737-100型は100人の乗客しか乗せていませんでしたが、737-800型では180名の乗客を乗せるに至っています。まだまだ改良が続いています。短距離型で売れ続けているわけは、市場の動向、技術の発達など、すべてのバランスを取り、機体も改良を重ねることによって、価格を抑え、売りやすく

しているからでしょう。この販売方法は、すべての製造業に応用できるものと思います。

さて、空港から市内へは、リニアモーターカーと地下鉄を乗り継ぎ、南京西路（ナンチンシールー）からはTAXI。花園飯店（オークラガーデンホテル上海）に泊まりました。夜は知人と食事をしながら、現在の状況を聞きます。翌日からは仕事。現在は共産党員の締め付けは、下部の構成員まで及んでいるようです。市況は少し元気がないかなと思いますが、まだまだ経済活動は盛んです。この時期おいしい上海蟹、大きいのを二ついただきました。

卓話

現れた30年後の中国の姿 ～習近平時代の本格化～

東海日中関係学会会長、名古屋外国語大学特任教授
(中日新聞・東京新聞元論説委員、上海支局長)

川村 範行



1、第十九回中国共産党大会

習近平総書記による政治報告
三時間半（過去最長）

「長期の努力を経て中国特色社会主義は新時代に入った、我が国の発展の新しい歴史の起点」

新しい発展目標（中国の将来

像）を二段階で明示

(1)2020年～2035年 「社会主義現代化」を基本的に実現

小康社会（人民生活がやや豊かになる）の全面的実現

*一人当たりGDP世界30位以内

(2)2035年～今世紀半ば 富強民主文明和諧美麗的「社会主義現代化強国」を実現

物質文明・政治文明・精神文明・社会文明・生態文明が全面的にレベルアップ

全体人民が共同富裕を基本的に実現

総合国力と国際影響力がグローバル化 *一人当たりGDP世界上位10位以内に

大国から強国へ 経済強国・政治強国・軍事強国 *アメリカに追いつき、追い越す

中華民族が世界の民族の中で屹立する *2049年中華人民共和国成立百年

2、「创新型国家」の建設を加速する

イノベーション 先進技術の基礎研究・応用研究の

強化 科学技術人材の養成 農村振興戦略・貧困脱出 区域調整発展戦略・格差縮小（西部、中部、東北） 全面開放的経済体系の形成推進
「一带一路」建設が重点 「共商・共建・共享」が原則 陸海内外連動が目標

3、習近平時代の本格化

(1)習近平思想「習近平新時代中国特色社会主義思想」党規約（党章）に明記

指導指針として、長期にわたり堅持しなければならない

毛沢東思想 鄧小平理論 三つの代表理論（江沢民） 科学的発展観（胡錦濤） 毛沢東に並ぶ？

北京・王府井で販売される習近平バッジ（毛沢東より大きい肖像）習近平文庫も公然と囁かれる“習近平主義”（中国特色社会主義に代わる？）

(2)ポスト習金平は習金平

最高指導者層 政治局常務委員“チャイナ7” 後継者の登用無し

定年制「七上八下」 二期10年慣例 *57歳以下の人材登用必要

①陳敏爾（重慶市書記・中央委員→政治局員 専科卒→浙江省宣伝部長→貴州省書記）

②胡春華（広東省書記・政治局員→昇格無し 北京大卒→共青団第一書記 エリート）

党主席制の復活？ 2期10年続投か、党トップとして君臨 「核心」として院政も

1982年、十二大で中国共産党中央委員会主席を廃止 党総書記を最高責任者に

「党主席」は「総書記」より格上 *最終決定権・最高指導者

4、個人崇拜の戒めはどこへ

鄧小平の遺訓は形骸化？

2016年「核心 習近平」待望・称賛キャンペーン

2017年「習近平思想」称賛キャンペーン

「集団指導体制は変わらず」中央党校胡春涛教授が言明（11月9日）

例会	月日	今後の予定
第2200回	11. 29	駐名古屋大韓民国総領事 鄭煥星氏 「韓日関係の深さ」
第2201回	12. 6	年末会員家族懇親会 17:00～ブルーノート(お昼のウェスティンナゴヤキャッスルでの例会はございません)

○このウィクリーは再生紙を使用しております。